

令和5年度 金沢美術工芸大学 工芸科

実技試験Ⅱ「立体表現」

問題

与えられた「かぼちゃ」と「縄」をモチーフとして、自由に想定した多面体を組み合わせ、粘土を用いて立体表現しなさい。

*多面体：平面だけで囲まれている立体。

条件

1. モチーフ及び多面体の個数、大きさ、長さなどの設定は自由とする。
2. 使用する粘土の量は与えられた範囲内で自由とする。
3. 解答作品は塑像板からはみ出さないこと。
4. 解答作品は高さ30cm以内とする。

注意

1. 解答作品は試験終了後に採点のために移動させるので、強度には注意すること。
2. 粘土は必要な量だけ袋から取り出して使用すること。
3. 募集要項に指定された持参用具と机上に準備された用具以外は使用しないこと。
4. 配布されたヘラは加工しないこと。
5. モチーフは加工しないこと、ただし縄の末端のテープは取り外しても構わない。
6. 粘土の中に異物を入れないこと。
7. モチーフ、用具、問題用紙、エスキース用紙など配布したものを持ち帰らないこと。
8. 塑像板右下にある受験番号側を正面にして制作すること。

モチーフ

4分の1に切ったかぼちゃ：1個

縄：1本

配布物

水粘土 1kg×8個、粘土板大（練り用）、粘土板小（塑像板）、塑像用具一式、霧吹き、雑巾2枚、水入れ、エスキース用紙5枚、